

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	北海道支部	(2)記載者氏名	海川 敏雄	会員番号	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 189	
分水嶺区分	595Eコル～H181美利河丸山～374Nコル			(3)山行日:	2005年	5月	8日(4)天候	曇り

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

横内泰美	10687							
海川敏雄	10981							
片岡次雄	12093							
計				3名		計		名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	二股ラジウム温泉～H181丸山～丸山肩～P18m～P435m～P448m～P386m～P374Nコル～美利河温泉												
アプローチ:	函館～R5～R842(大峯双葉線)～二股ラジウム温泉												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	二股ラジウム温泉	二股温泉	140	14	21.2	42	34	38.6	215		7:50		
分水嶺到達点	595Eコル	二股温泉	140	14	31.0	42	34	7.5	578	9:05	9:10	B-4	
H181	丸山674.2m	渡島双葉	140	15	7.9	42	33	13.3	669	10:35	10:40	B-4	(9)
	丸山肩	渡島双葉	140	15	16.3	42	33	7.5	650	10:50	10:55	B-4	(9)
	P518m	渡島双葉	140	15	46.4	42	33	8.6	518	11:20	11:25	B-4	(9)
	P435m	渡島双葉	140	15	57.0	42	33	51.8	433	11:45	12:00	B-4	(8)-1
	P448m	渡島双葉	140	15	47.6	42	32	34.6	451	12:15	12:20	B-4	(9)
	P386m	渡島双葉	140	15	34.5	42	32	16.5	386	12:40	12:45	B-4	(8)-2
分水嶺離別点	P374Nコル	渡島双葉	140	15	36.1	42	32	6.2	312	13:20	13:50	B-4	(9)
歩行終了点	二股ラジウム温泉	二股温泉	140	14	21.2	42	34	38.6	215	16:45			

総歩行時間(休憩時間を除く): 8時間00分
分水嶺距離 約3km : その他 約10km

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H181	丸山				すでに踏査報告済み(山行報告書:北海道-097にて報告済み)

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

1. 脇に鉄塔があり、「北電 函館幹線 228号」と記されている。	
2. 脇に鉄塔があり、「北電 函館幹線 232号」と記されている。	

(9)水および植生に関連した特記事項

ほとんどがブナで、その中にタケカンバが交じっており、地表をネガマリタケが覆っている。	

(10)その他の特記事項

土砂崩れの危険があるという理由で、美利河峠から美利河温泉への道路が閉鎖されていたので、二股ラジウム温泉から入ることになった。二股温泉脇の登山道を登り、分水嶺に出て、丸山の肩から(545 435 448 386)を踏査し、374のNコルから美利河温泉に下る。帰路は丸山を登り返し、往路を経て二股温泉へ。	
(丸山肩～595Eコル)間は昨年6月に踏査報告済み、今回は(丸山肩～374Nコル)間を踏査した。今年の大雪のためにへし折られた大量の倒木が、見るも無惨な姿を登山道にさらしていた。雪の消えた登山道には、1～2日前に降ったと思われる新雪が積もっていたが、その中に、カタクリが可憐な花を咲かせていたのが印象に残った。	

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	